

SES300GA

情報文化演習－生物と持続可能な社会－

島野 智之

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地球環境の加速的破壊が進むなか、持続可能な社会作りを考える。フィールドワーク等を通して、我々はどうあるべきかを各自考える。世界に視野を広げ見直してみる。

【到達目標】

与えられた課題をこなすだけでなく、自分で問題点を見つけて取り組むことが出来るようになること。具体的には、積極的に現場に出かけて情報を収集できるようになること。

【授業の進め方と方法】

授業だけではなく夏期休暇などを利用して、フィールドワークを計画している。

また、メイン・テーマ以外に、自由な視点でプロジェクトを企画・実践し、秋学期に開催される学部内の研究発表会に参加する（予定）。そして、論文作成に取り組む。

特に、教室を出てフィールドワークを考える（たとえば、地方への訪問など）。また、ゼミに関係したゲストをお招きする予定。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	自己紹介および1年間の授業計画
第2回	生物多様性とは何か	生物多様性についての概観
第3回	生物多様性はなぜ重要か	生物多様性の意義。国際関係や経済活動がなぜ繁栄するのか？
第4回	生物多様性条約	各国の生物多様性条約への取り組みと経済活動。各国間の駆け引き
第5回	日本の農業事情	日本の農業と生物多様性
第6回	日本の食料事情など	日本の農業生産と食糧事情
第7回	世界の農業事情など	世界の農業と生物多様性 なぜ、地球の持続可能性と、近代の農業生産は相反するのか、あるいは、補い合う方法はないのか？
第8回	世界の食料事情など	世界の農業生産と食糧事情
第9回	4年生の論文テーマ発表（事前準備）	論文のテーマについて、プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。
第10回	4年生の論文テーマ発表（本報告）	論文のテーマについて、プレゼンテーションを交えて発表し、確定する。
第11回	生物多様性に関する討議	生物多様性について調べて、討議する。
第12回	生物多様性に関する問題を探る	討議を踏まえて、今後、どの様に各国が対策をとっていったら良いのか、あるいは、どのような問題解決の方法があるのか？
第13回	3年生のプロジェクト発表	前回、前々回の討議を踏まえて、3年生の調査研究テーマを発表する。
第14回	4年生の論文中間報告	論文のテーマについて、プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。

秋学期

回	テーマ	内容
第15回	4年生の論文中間報告（再）	再び、論文のテーマについて、プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。
第16回	4年生の論文中間作成（前半）	進捗状況に基づいて、作成にかか

第17回	4年生の論文中間作成（後半）	進捗状況に基づいて、作成にかかる。
第18回	3年生のプロジェクト成果発表	プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。
第19回	国際文化学部学会準備①	テーマを出し合って討議する。
第20回	国際文化学部学会準備②	討議したテーマに基づいて、調査研究をすすめる。
第21回	国際文化学部学会準備③	まとめ
第22回	4年生の論文発表①	プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。 (4年生の1/3について)
第23回	4年生の論文発表②	プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。 (4年生の1/3について)
第24回	4年生の論文発表③	プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。 (4年生の最後の1/3について)
第25回	ゼミ論文作成①	テーマを出し合って討議する。
第26回	ゼミ論文作成②	討議したテーマに基づいて、調査研究をすすめる。
第27回	ゼミ論文作成③	まとめ
第28回	ゼミ論文発表会	プレゼンテーションを交えて発表。 コメントを付けて討議する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自分で課題を見つけ、多角的に取り組むこと。文献を収集するだけでなく、直接、調査・取材活動をおこなうこと。可能な限り、情報源に当たり、なにか、オリジナルであるのかを明確にした上で、レポートなどを作成すること。

【テキスト（教科書）】

テキストは用いず、必要な資料はプリントして配布します。

【参考書】

「地球の論点－現実的な環境主義者のマニフェスト」 スチュアート ブランド (著), 仙名 紀 (翻訳), 英治出版, 2011.

他は必要に応じて、その都度、指示します。また、ゼミに関係したゲストをお招きする予定です。

【成績評価の方法と基準】

年度末までにまとめた各自の成果 (50%)、およびそのために各自が行った企画・調査活動状況 (=平常点: 50%)。頑張る姿勢、真摯な姿勢を評価したいと思います。

【学生の意見等からの気づき】

ゼミは、受け身の授業と異なり積極的にみんなで作り上げていくものです。4年生は後輩をサポートしお手本となるように心掛け、3年生は先輩をよく見て学んで下さい。

【学生が準備すべき機器他】

授業には、主としてパワーポイント映像およびビデオ資料を用い、各自に、パワーポイント、あるいは、ポスターなどでプレゼンテーションをしていただくことがあります。

【その他の重要事項】

本ゼミの目標は、文献などの間接情報だけに頼るのではなく、直接出向いて生の情報に触れ、それらを通して学ぶことの面白さを知り、自己を鍛えることでもある。

そして、グループ活動を通じて切磋琢磨し、相手を思いやる心を身に付け、少しでも一人前の社会人に近づくこと。

与えられたことを行うだけでは一人前とは言えず、自分でさらに課題を見つけて取り組んでこそ、一人前と言えます。そのためには、小さな事でも損得を考えずに手抜きせず真面目に取り組むことが大切です。

授業の各回のテーマは、受講生の希望や最新のトピックスなど取り入れることがありますので、内容や順番が異なる場合があります。

管理 ID:
1804987
授業コード:
C1104